

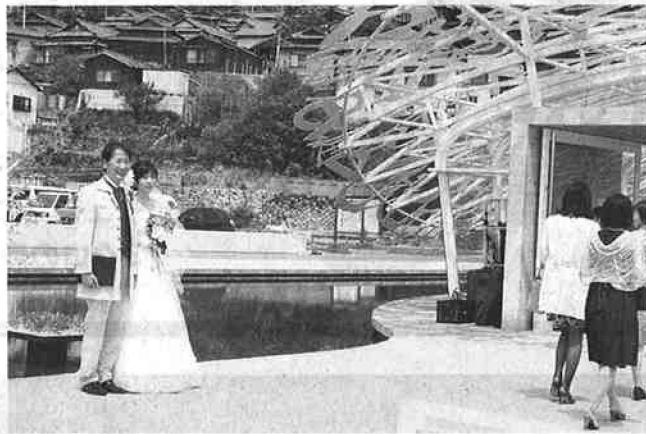
活性化期待、男木島で結婚式

「瀬戸の花嫁」島民らも祝福

「瀬戸内国際芸術祭」の会場の一つ、高松市沖の男木島で市民結婚式が開催された。瀬戸内海を専用のヨットで渡った「瀬戸の花嫁」を新郎が港で出迎え、島民らから祝福を受けた。

「ふるさと婚」を企画・運営する高松市のプライタル会社「フェアリー・テイル」が、島の活性化も目指して地元協力を得て15日に開催。新郎新婦の同市在住の会社役員男性(42)と千葉県から同市に転居した女性(38)は、ヨット上で結婚宣言を行った。新郎は「3年前の芸術祭の時にボランティアで訪れて居心地がよかった。島への感謝と活性化を願って式場に選んだ」と語った。

港近くの現代アート作品「男木交流館」で行われた披露宴では、島の婦人会の女性15人が地元食材を使った「ゲタの唐揚げ」や「タコ天ぷら」などの料理を出席者約30人にふるまった。協力した男木地区コミュニティ協議会の木場健一会長(65)は「これからも結婚式を見に、大勢の人が集まってくれたら」と歓迎していた。



「男木交流館」で披露宴を行う新郎新婦—高松市男木町